

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議会名:長久手市地域公共交通会議

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価	【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】  ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
Nーバス	7路線		A	平成23年4月1日の路線見直し以降運行を続けている。	利用者数は対前年度比を上回り、目標を達成している。 平成23年4月の路線見直し以降、増加傾向で推移している。  【利用者数の目標:対前年度比増加】 平成29年度:697人/日(H28.10~H29.09) 平成30年度:717人/日(H29.10~H30.09)	
中央循環線右回り(名鉄バス)	市役所~市役所	前回の評価結果は、市民主体の利用促進活動の実施と公共交通マップの作成による利用促進が評価され、平成28年12月と平成29年10月に相次いでオープンした大型店舗の影響によるバスの遅延を踏まえた渋滞対策の対応と、長久手古戦場駅と愛知医科大学病院の乗り継ぎ拠点を結ぶ南北広域幹線軸の構築を踏まえ、尾三地区における広域的公共交通ネットワークの構築への期待であった。	A	平成23年4月1日の路線見直し以降運行を続けている。	前年度の評価対象期間と比べた補助対象路線の利用者数は、対前年度比を上回っている。 平成29年度:126人/日(H28.10~H29.09) 平成30年度:133人/日(H29.10~H30.09)	
中央循環線左回り(名鉄バス)	市役所~市役所	それに対し、渋滞への対応として、渋滞の影響を考慮し、Nーバスの遅延解消、乗継改善及び乗務時間の法令遵守のため運行ダイヤを見直しに向け名鉄バスと協議調整を行った。	A	平成23年4月1日の路線見直し以降運行を続けている。	前年度の評価対象期間と比べた補助対象路線の利用者数は、対前年度比を上回っている。 平成29年度:120人/日(H28.10~H29.09) 平成30年度:128人/日(H29.10~H30.09)	
三ヶ峯線平日便(名鉄バス)	市役所~市役所	尾三地区における広域的公共交通ネットワークの構築については、H30.3に尾三地区広域公共交通基礎調査報告書をとりまとめ、調査結果を基に尾三地区関係市町と協議を継続している。	A	平成23年4月1日の路線見直し以降運行を続けている。 平成28年4月1日のNーバスの路線見直しにより、三ヶ峯線早期便は廃止し、三ヶ峯線福祉の家発便は三ヶ峯線として運行系統を一体にした。	前年度の評価対象期間と比べた補助対象路線の利用者数は、対前年度比を上回っている。 平成29年度:87人/日(H28.10~H29.09) 平成30年度:89人/日(H29.10~H30.09)	
三ヶ峯線土休日便(名鉄バス)	市役所~市役所					

Nーバスの運行ダイヤの改正をH31.4より実施予定。  
  
次期形成計画の計画事業の1つに「市外に接続する公共交通機関との連携」を位置づけ、接続待ち時間の短縮による利便性確保を目指す。

H31.3に策定予定の次期形成計画では、Nーバスの見直しを計画事業に位置付け、市民アンケートとワークショップの結果を踏まえ、利便性の向上に向けた具体的な検討の実施を予定し、H33から見直し路線での運行開始を目指す。

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

平成31年 1月 日

協議会名:長久手市地域公共交通会議

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
【事業内容及び結果概要を記載】	A ・ B ・ C 評価	【事業が適切に実施された(されている)かを記載。適切に実施されなかった(されていない)場合には、実施されなかった事項及び理由等記載】	【補助申請を行う補助対象事業名、事業内容、実施時期等を記載】
地域公共交通網形成計画の策定	A	計画どおり適切に事業が実施されている。	<p>【補助対象事業名】 地域公共交通調査事業(計画策定事業)</p> <p>【事業内容】 平成30年度長久手市地域公共交通会議運営他業務委託</p> <p>【実施時期】 平成30年5月25日～平成31年3月22日</p> <p>12月17日の地域公共交通会議にて次期地域公共交通網形成計画の素案を提示し、1～2月のパブリックコメントを経て、3月に開催予定の地域公共交通会議に諮り策定する。</p>
公共交通会議運営補助等 (会議資料の作成・取りまとめ)	A	計画どおり適切に事業が実施されている。	<p>【地域公共交通会議の開催状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回:平成30年6月1日(金)</li> <li>・第2回:平成30年8月3日(金)</li> <li>・第3回:平成30年10月15日(月)</li> <li>・第4回:平成30年12月17日(月)</li> <li>・第5回:平成31年3月(予定)</li> </ul> <p>これまでに4回の会議を開催し、地域公共交通網形成計画の素案に至るまで協議いただいた。第5回では地域公共交通網形成計画(案)の最終確認及び承認をいただく。</p>

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成31年 1月 日

協議会名:	長久手市地域公共交通会議
評価対象事業名:	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>本市は愛知県名古屋市の東側に位置し、人口約58,000人(平成30年11月1日現在)で現在も増加を続けている。</p> <p>本市は通勤通学流動の面では名古屋市との結びつきが強く、市内の公共交通網は、軌道系のリニモが東西方向の移動軸として、市域を横断し、民間の路線バスが名古屋市内の地下鉄駅、市内の主要施設、周辺の大学など、市西部地区の移動軸として、東西方向の移動に対応した路線網となり、隣接市町の境界をまたいでいる。また、市営のコミュニティバス(Nーバス)が、民間のバス路線を補完する形で市内の移動の足を確保するため、面的にカバーする路線網を形成している。</p> <p>リニモの長久手古戦場駅と公園西駅付近において土地区画整理事業が進んでおり、駅隣接地における大型商業施設の完成に伴い、更なる人口増加や交通流動の変化が見込まれるため、自家用車に過度に依存せず、リニモ、路線バス、Nーバスが一体となった使いやすいネットワークをつくり、人がニコニコ笑い、イキイキと暮らす姿を将来像とし、市内公共交通をみんなで育み、よりよい公共交通の実現を目指す。</p> <p>公共交通ネットワークは移動ニーズに合わせて展開し、市内外への移動拠点となる交通結節点への移動利便性の向上を目指しながら、公共交通とまちづくりとの連携を図り、将来の公共交通ネットワークの形成を進める。</p>